

重症心身障がい児施設 すこやか 介護福祉士について



岐阜県総合医療センター
重症心身障がい児施設すこやか

本日の内容



- 重症心身障害児とは
- 重症心身障害児の特徴
- すこやかでは
- 本院との連携
- すこやかの介護福祉士とは
- 多職種連携と協働
- 業務内容
- 勤務時間
- 医療的知識について
- 終わりに

重症心身障害児とは

- ▶ 重症心身障害児とは、運動機能、知的機能が重度に障害された状態です。
- ▶ 児によって呼吸器障害や、消化管障害の管理が必要です。
- ▶ 体調や成長に伴いさまざまな合併症につながる恐れもあります。

重症心身障害児の特徴

姿勢

寝たまま

食事

・経口摂取できる

全介助 食形態=きざみ食（トロミ付き）
流動食（ペーストが多い）

経口摂取できない

全介助 流動食（ペーストが多い）、
経管栄養法 経鼻経管栄養法、胃ろう、腸ろう

コミュニケーション

言語による理解・意思

伝達が困難

変形、拘縮

手、足が変形または拘縮、
側彎や胸郭の変形を伴う
人が多い

排泄

全介助

移動

車椅子（バギー）

での移動

寝返りも困難

呼吸管理

人工呼吸器装着、気管内挿管

（気管に酸素を送る管を挿入）

気管切開（カニューレ設置）

などの呼吸管理を要する

体調

肺炎・気管支炎を起こし

やすく、痰の吸引が必要

てんかん発作

すこやかでは

- ・ 1人1人の特性に合った看護・介護・療育をしています。
- ・ 多職種と連携協働を図り、1人1人に適した毎日のケアを行い、児にとって快適な場所であるようにスタッフ全体で協力体制をとっています。

個別性を大切にした関わりをしています

本院との連携と協働

- ・ 他科の医師
- ・ 社会福祉士 (MSW)
- ・ 理学療法士 (PT)
- ・ 言語聴覚士 (ST)
- ・ 作業療法士 (OT)
- ・ 管理栄養士
- ・ 臨床工学技士 (ME)
- ・ 歯科衛生士
- ・ 臨床心理士

その他にも職種はたくさんおります。



ユニフォームの色わけ

赤色 : 介護福祉士
児童発達支援管理責任者

橙色 柄付き : 保育士

白・紺色 : 医師・看護師



すこやか介護福祉士とは



医療的ケアが多い利用児・者の理解に努め、病院と併設した医療技術、環境を活かし、生活機能の維持又は向上する介助が求められます。



- ▶ 入所児・短期利用児・者へ一人ひとりの人権を尊重し、その児・者に合う介護を提供します。

すこやかの入所について

- ▶ 長期入所児
 - ▶ 0歳～18歳未満
個別支援計画に基づき医療型入所を行います。
- ▶ 短期入所児（者）
 - ▶ 基本的に1歳以上（年齢制限なし）
在宅で重症心身障がい児・者の生活を支えるご家族の軽減を図るため、1か月上限1週間のレスパイトを行います。
- ▶ 教育入所児
 - ▶ 日常用品の物品管理
 - ▶ 在宅生活に向けて家族支援

家族との関わりも大切に

PSについて

PNS（パートナーナーシングシステム）に基づいた
パートナーシップを採用しています。

介護福祉士・看護師がペアになり
職種の違いはあってもそれぞれが専門性を活かし
対等の立場で意見を伝えながら日々のケアを行います。



日々の関わり

看護師、介護福祉士が
ペアになり、ケアを
行っています。

【人工呼吸器装着児】

看護師と共に行うこと

- ・オムツ交換、体位交換、移乗
着替え、入浴、清拭、陰洗等



介護福祉士同士でできること

【人工呼吸器未装着児】

基本的に介護福祉士だけで実施できる

オムツ交換、体位交換、移乗
移動、着替え、口腔ケア
食事介助、入浴、清拭
陰洗、整容等



入浴

- ・ 看護師がアンビューバックを行い、介護福祉士 2 人で洗髪・洗体 を行う
- ・ 入浴室、物品の準備、室温の設定、入浴実施



經管栄養準備



食事準備・介助

- ▶ 適切な食事形態への調理
- ▶ 二次調理具の活用
- ▶ 食事を行うための環境づくり
- ▶ 入所児（者）の食事介助



- きざみ食
- ペースト食
- とろみ剤の使用

軟菜食

粥ペースト (小)

粥ペースト (小)
関東煮 (うずら)
アスパラのサラダ ゴマドレ
プリン
見物 軟

昼・夕のみ
副ペースト
主ペースト

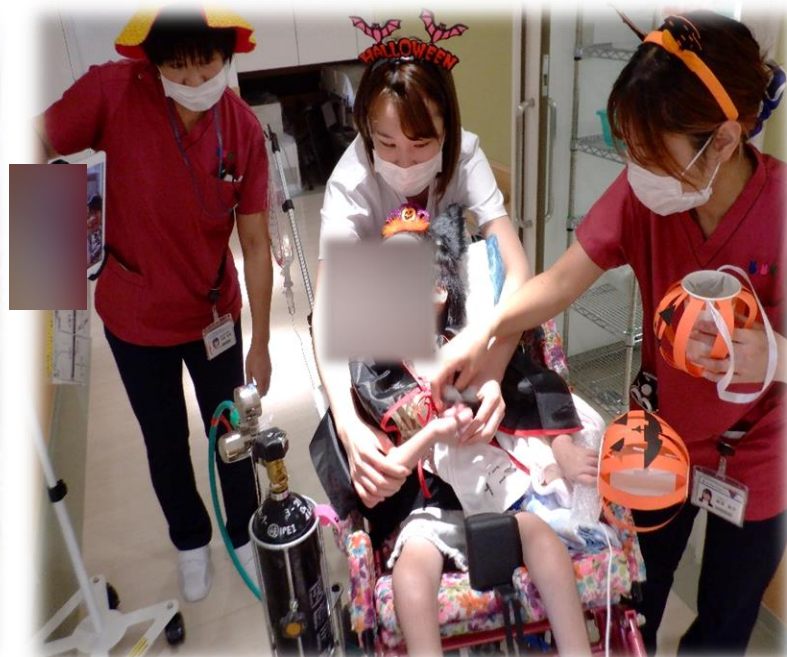


療育活動

保育士が主体となり集団療育、個別療育を行っています。



療育活動 季節の行事



日曜の余暇活動

看護師と介護福祉士が中心となって余暇活動を行っています



スタッフの勤務

入所児の365日24時間に関わっています

日勤：（8：30～17：15） 8時間勤務

N日勤：（8：30～19：30） 10時間勤務

夜勤： 看護師2名＋介護福祉士1～2名
（18：30～9：45）14時間夜勤
夜勤明けの翌日はお休みです。

何かあれば、本院の医師と連携を取ります。

医療的な知識つて難しそう・・・



学ぶ機会はたくさんあります

- ▶ 本院が実施している研修
- ▶ すこやか学習会
- ▶ BLS（一次救命処置）
- ▶ KYT 危険予知トレーニング
- ▶ 倫理・虐待カンファレンス

★介護福祉士からスキルアップを目指す人は★

児童発達支援管理責任者の資格を取る機会があります。

カンファレンス

- ▶ 毎日朝カンファレンスの時間を設けています。
- ▶ すこやかでは、日々改善するために、さまざまな議題について専門外の事でも意見を出し合い決めていきます。
- ▶ 専門的な知識だけではなく、自分の意見を伝えてすこやかにとって良い環境づくりを実施しています。

終わりに

- ▶ すこやかに入所している重症心身障がい児は、本人の反応やバイタルサインを日頃から理解した上で関わることが大切です。
- ▶ 児に何が必要か介護の専門職の知識を活かし一緒に関わりませんか。



すこやか介護福祉士
として一緒に
働いてみませんか♡

☆おまちしています☆

